

## ★ ～各班班長の抱負～ ★

## 「人と人の心のつながりを」

## 「活動の方法を模索して楽しみたい」



C班班長 成田 淳

## A班班長 内池 教子

昨年度に班長をお受けしましたが、不慣れで要領が悪く、班員の皆様には色々とお無理をお願いしました。それでも皆様のご協力のおかげで何とか無事に一年を終えることができました。二年目となる今年度は、今までの反省をもとに少しはスムーズに役目が遂行できるようにと心積もりをしておりましたが、コロナウィルスによって状況が一変しました。勝手なもので、ガイド依頼申し込みが集中していたときには、追われるように割り振りにあくせくしましたが、今となっては、あの連絡のやり取りでさえ懐かしく感じられます。当然のことながら、誰もが自由に旅行を楽しめるというのは、なんと贅沢なことなのかと思ひ知りました。

コロナウィルスへの不安が払拭されない限り、ガイド活動が再開されても今までのようにはいかないでしょう。萎縮した気持ちと向き合いながら、これを機にゆっくりと楽しみながら歴史を学び、観光案内のあり方を考えて、社会状況に応じた新しい活動の方法を模索していかなければと思っています。

## 「皆様よろしくお祈いします」

## B班班長 萬木 達夫

今年度B班班長を拝命しました萬木（ゆるぎ）です。定年退職後、非正規で仕事を続けガイドと二足のわらじを履いて活動しております。生まれは膳所（大津市）ですが、父親が大溝藩の城や陣屋があった高島市勝野出身で、高島市周辺にはゆるぎ姓（万木・萬木）が多くおられることもあり、自己紹介では湖西の高島市出身とさせて頂いています。

幼少期は膳所から高島まで廃線になった江若鉄道に乗って行ったことを覚えています。

皆さんは江若鉄道が膳所駅から京阪石坂線に乗り入れ、浜大津経由で今津まで走っていたことをご存じでしたか。関係の無い話が長くなりました。

今年度は新型コロナの影響でガイドや各種行事が自粛となり、今までになく寂しい活動状況ですが、今秋にかけて徐々に観光も活気が戻ってくると思われます。

まずは皆様の健康や安全が第一ですが、動員依頼が来た際には積極的なご協力を何卒よろしくお祈い申し上げます。

会員の皆様には、いつもお世話になり、誠にありがとうございます。

新聞やテレビで、コロナという言葉を目にしない日はないといった状態が、この半年続いています。ガイド活動も感染拡大防止のため休止となりましたが、7月より再開され、ガイドができることを嬉しく思っています。しかしながら、気を付けなければならないのは、訪れるお客様とお迎えするガイドとの双方の「安心・安全」を確保しつつ、「身体的距離」は守っても「人と人の心のつながり」は遠くならないように心掛け、元気で楽しいガイドを行っていきたく思います。そして、以前のような活気ある街が一日でも早く訪れる事を切に願っております。

最後になりましたが、今年度4月より、C班の班長をさせて頂くことになりました。

諸先輩方にご指導頂きながら、班長の責務を果たせるよう努めてまいりたいと思ひます。何卒よろしくお祈い申し上げます。

## ★ ～先輩ガイドから学ぶ～ ★

## 「創立三十周年をめざして」

伴 佳夏

平成十年、当協会に入会させて頂き、先輩方に御指導を頂きました。当時、入会後の半年ほどは団体のお客様を先輩が案内説明をされて、新人ガイドはお客様の安全確認の為に後方より付き添う役目でした。初めて一人でガイドをさせて頂いたのは、京都の6人様でした。お別れの時にはそれぞれ握手をして下さって、車内より手を振って下さったその日のことは、今も鮮明に脳裏に残っております。それ以来、少人数様のガイドをさせて頂くと後日”お礼状” ”写真” などを送ってくださる方がいます。感謝と幸せを感じます。以前に開催されていたボランティアガイド全国大会、そして市役所前通りを団扇片手に踊った「てんびんまつり」など楽しい思い出のひとつです。ガイド活動の年月には”感動、喜び” 失敗等ありますが”おもてなし” の心を大切に、地元を愛し地元の方々から愛されるように心掛けてきましたが、色々な面で時世の変化に対する適応能力が劣ってきました。当協会会活動に対しても私は、終止寸前の”アラート態勢” に入ったのではないのか?と心配のこの頃です。当協会も再来年”創立三十周年” を迎えます。

皆様と共に此のよき記念の日を迎えたいと切に願っております。